

平成 2 2 年度（2010年度） 予算総括表

単位：千円、%

会 計		平成 2 2 年度 (2010年度) A	平成 2 1 年度 (2009年度) B	増 減	
				増 減 額 C (A - B)	増 減 率 C / B
一 般 会 計		38,480,000	34,130,000	4,350,000	12.7
特 別 会 計	競 艇 事 業 費	55,990,000	112,344,309	▲ 56,354,309	▲ 50.2
	国 民 健 康 保 険 事 業 費	13,465,942	12,630,971	834,971	6.6
	牧 落 住 宅 団 地 事 業 費	21,672	22,244	▲ 572	▲ 2.6
	老 人 保 健 医 療 事 業 費	15,499	53,478	▲ 37,979	▲ 71.0
	財 産 区 事 業 費	2,118,557	2,118,583	▲ 26	0.0
	介 護 保 険 事 業 費	6,444,105	6,175,208	268,897	4.4
	小野原西土地区画整理事業費	2,138,195	3,047,251	▲ 909,056	▲ 29.8
	公 共 用 地 先 行 取 得 事 業 費	718,957	730,739	▲ 11,782	▲ 1.6
	後 期 高 齢 者 医 療 事 業 費	1,601,040	1,327,720	273,320	20.6
	特別会計の計	82,513,967	138,450,503	▲ 55,936,536	▲ 40.4
企 業 会 計	病 院 事 業 会 計	9,128,106	8,880,274	247,832	2.8
	水 道 事 業 会 計	3,649,779	5,431,645	▲ 1,781,866	▲ 32.8
	公 共 下 水 道 事 業 会 計	2,715,526	2,629,100	86,426	3.3
	企業会計の計	15,493,411	16,941,019	▲ 1,447,608	▲ 8.5
合 計		136,487,378	189,521,522	▲ 53,034,144	▲ 28.0

***** 平成 2 2 年度予算の主な変化 *****

- ・ 景気低迷に伴い市税、各種交付金の大幅な減収見込み
- ・ 主に子ども手当の給付(2 6 億円)による民生費、扶助費の増加
- ・ 主にみどり支援基金の創設(約 8 億円)による土木費、積立金の増加
- ・ 主に彩都地区小中一貫校の整備(約 2 1 億円)による教育費、普通建設事業費の増加
- ・ ポートピア梅田の管理施行者が都市競艇組合に交代(3 年ごと)することに伴い特別会計競艇事業費の予算規模が縮小

2. 予算(案)の概要

当初予算の全体像

◆ 一般会計の予算額 384億80百万円
<+43億50百万円、+12.7%>

子ども手当の給付(26億円)や彩都地区小中一貫校の整備(約21億円)などにより予算規模が拡大

◆ 全事業会計の予算額 1,364億87百万円
(特別会計・企業会計を含む) <▲530億34百万円、▲28.0%>

特別会計競艇事業費において、ポートピア梅田の管理施行者が都市競艇組合に交代(3年ごと)に関連予算が大幅に減少

収支バランスの状況

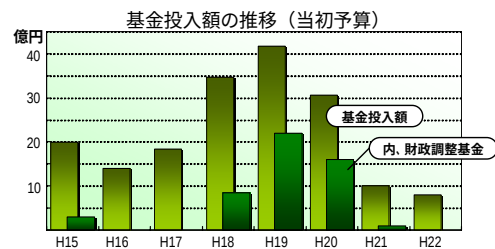
◆ 経常収支比率 99.9%
<±0.0ポイント>

市税など経常一般財源が減少(▲8億65百万円)したものの、人件費をはじめ、指定管理施設の拡大や各種事業の見直しなどにより経常経費を削減し、昨年度に引き続き経常黒字を達成した。

◆ 基金投入額 8億10百万円
(取崩額－積立額) <▲2億5百万円、▲20.2%>

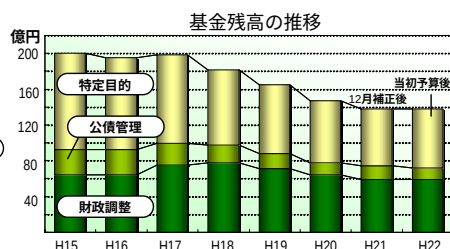
※ 定額運用基金(自然緑地等保全基金)からの積み替え分を除く

取り崩しを、必要最小限の9億62百万円とし、一方で「未来子ども基金」、「交通設備整備基金」などに1億52百万円積立、財政調整基金の取り崩しはしない。



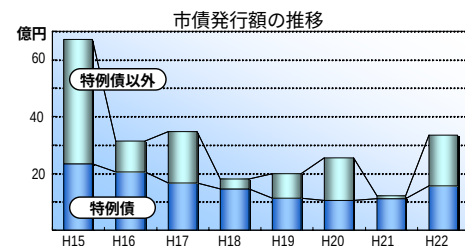
◆ 基金残高 137億75百万円
<▲13百万円、▲0.1%>

平成21年度に国の経済対策を活用し、将来予定していた事業を前倒しで実施したことにより、平成22年度は投資的事業を最小限にとどめ、基金残高の減少をくい止めた。



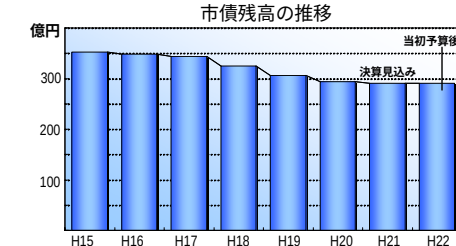
◆ 市債発行額 33億37百万円
<+21億29百万円、+176.3%>

彩都地区小中一貫校整備などのため施設整備事業債を約17億87百万円発行した。なお、臨時財政対策債は、15億50百万円の発行としている。



◆ 市債残高 291億円
(普通会計ベース) <+71百万円、+0.2%>

平成15年度をピークに減少傾向にある。平成22年度についても、ほぼ前年度並みの残高となった。



一般会計予算の概要

◆ 主な歳入の状況

- ・ 市税収入 219億85百万円 <▲5億72百万円、▲2.5%>
景気低迷に伴い、大幅な減収となる見込み
- ・ 国庫支出金 48億37百万円 <+22億38百万円、+86.1%>
- ・ 市債 33億37百万円 <+21億29百万円、+176.3%>
子ども手当の給付(26億円)や彩都地区小中一貫校の整備などの実施に伴い、国庫支出金、市債が増加
- ・ 競艇事業収入 6億円 <±0億円、±0.0%>
・ 収益向上策の強化などにより、前年度と同額の6億円を繰入
- ・ 4億50百万円を、市民生活に直結した事業に活用(消防車両5台の更新、第六中学校エレベータ整備、環境クリーンセンター施設改修、病院事業会計繰出)
- ・ 1億50百万円を、将来への投資に備えて「未来子ども基金」(5千万円)、「交通設備整備基金(北大阪急行の鉄道延伸用資金)」(1億円)に積立

◆ 歳出における特徴的な変化

- ・ 扶助費 74億8百万円 <+24億52百万円、+49.5%>
子ども手当(26億円)の給付開始に伴う増など
- ・ 普通建設事業費(施設整備工事など) 38億7百万円 <+19億7百万円、+100.4%>
彩都地区小中一貫校の整備、箕面森町認定こども園・既成市街地保育所の整備費補助など、未来を支える子どもたちのための事業や、(仮称)止々呂美ふるさと自然館の整備など地域活性化事業に重点化した。
- ・ 積立金 9億45百万円 <+4億67百万円、+97.6%>
みどり支援基金(7億92百万円)の創設など

『緊急プラン(素案)・ゼロ試算』について

・ 「ゼロ試算」の対象となった項目については、各方面での議論や様々な視点からいただいた多数の意見を踏まえ、その実現の可否を慎重に検討し予算に反映した。なお、経常一般財源が「ゼロ試算」と比較して1億29百万円減少しているため、支出削減効果の一部を相殺する結果となっている。

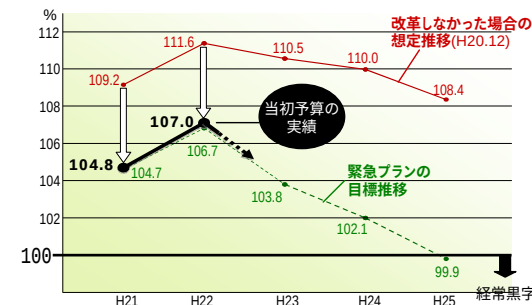
	H22予算案	緊急プラン(素案)での目標値	
		H22目標値	最終目標(H25)
基金投入額	8億10百万円	34億51百万円 以内	0(基金依存ゼロ)
経常収支比率(※)	107.0%	106.7% 以下	100% 以下
経常支出の圧縮	5億29百万円	4億37百万円以上	約10億円以上

(※ 経常収支比率は、「臨時財政対策債」を経常一般財源等から除いた数値)

- ・ 収支改善策としては、2施設において新たに指定管理者制度を導入するとともに、導入済みの施設においても管理者の更新にあわせて大幅な経費圧縮を図った。
- ・ また、広報紙の編集業務の外部委託化等により人件費の削減を行ったほか、長寿祝金(祝品)の対象者の見直し、市営葬儀の市規格葬儀制度への移行などを実施した。
- ・ なお、公共施設賃借料使用料の改定については、料金改定が利用者のサービス向上策につながる仕組みを検討することを先行させることとし、当初予算での実施を見送った。

◆ 改革による経常収支比率の改善

- ・ 経常収支比率は99.9%に抑えることができたが、臨時財政対策債を除いた「素」の経常収支比率は107%となっている。
- ・ この数値は、緊急プランのH22目標値(106.7%)に完全には及ばなかったものの、0.3ポイント差まで迫ることができた。
- ・ この水準の予算ならば、緊急プランの目標推移のとおり「H25経常収支比率の完全均衡(完全な経常黒字)」への道筋をつけることができたと判断。



3. 施政方針の概要

◆市政運営の基本姿勢と重点施策

I 安心・支え合い最優先

市民の安全・安心の確保と、地域での支え合いを醸成していく取り組みを進める。

1. 市立病院における医療の充実と赤字の圧縮【予算額 391,908 千円】
 - 患者の痛みや負担の少ない治療を推進するための内視鏡検査装置等、医療機器の整備充実を図る。
 - 昨年6月から地方公営企業法を完全に適用し、自らの権限と弾力的な運営により効率的に経営が行える組織体制へ移行したことにより、新年度予算では前年度比約1億2千万円の赤字を削減する。
2. (仮称) 箕面シニア大学の創設と (仮称) シニア・ナビの開設【予算額 2,389 千円】
 - 自主的活動の中核と成り得るパワーや知識を持つ高齢者の、仲間づくりや地域活動へのデビューを支援するため、シニア・高齢者に特化した「(仮称) 箕面シニア大学」を創設する。
 - 団塊世代が地域に戻られることを念頭に、これまでの経験を活かした多様なボランティア活動への紹介や、仲間作りを支援する窓口「(仮称) シニア・ナビ」を新たに開設する。
3. 元自衛官の採用による危機管理体制の強化
 - 災害に対する自治体の危機管理能力が強く求められている時勢に対応するため、豊富な経験を持つ元自衛官を採用し、危機管理監に充て、緊急時の対応力を再構築する。
4. 昨年度に続く消防車両の大幅な更新【予算額 106,782 千円】
 - 昨年度の5台に引き続き、消防車両5台 (常備消防車両1台、非常備消防車両4台) を更新し消防力の強化を図る。

II 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

1. 急増する保育所待機児童への積極的対応
 - ・ **2011年4月、保育所と認定こども園を新たにオープン (保育所定員150人増)**【予算額 346,425 千円】
 - 第二総合運動場の50メートルプール用地を転用し、認可保育所を新設する。(定員120人)
 - 小中一貫校とどろみの森学園敷地内に、保育所・幼稚園の一体型施設「認定こども園」を新設し、0歳から15歳までの一体的な保育・教育体制を整える。(保育所定員30人、幼稚園定員95人)
 - 「箕面市待機児童ゼロプラン」の目標「2014年度までに保育所定員を300人拡大」の一環
 - ・ **公立幼稚園で簡易保育を実施**【予算額 103,120 千円】
 - 市立とよかわみなみ幼稚園において、3歳児を対象とした簡易保育を委託する。(定員25人)
2. 大阪府内全33市で初めて、幼・小・中の耐震化率100%を達成【前年度からの繰越額 5,219,226 千円】、【予算額 8,425 千円】
 - 昨年の秋に着手した幼稚園3園、小・中学校9校の耐震化工事等を新年度の末に完成し、大阪府内全33市で初めてとなる幼稚園及び小・中学校の耐震化率100%を達成する。
 - 新年度はさらに、保育所1所の耐震化工事及び保育所1所の耐震診断調査を実施する。
3. 2011年4月、彩都に小中一貫校を開校【予算額 2,097,504 千円】
 - とどろみの森学園に続き本市で2校目、大阪府内の公立学校でも2校目となる施設一体型の「小中一貫校」を、2011年4月に彩都で開校する。これにより、9年間の子どもたちの一貫した学びと育ちを支える特色ある教育活動を展開する。
4. 校庭・園庭等の芝生化のさらなる推進【予算額 6.806 千円】
 - 子どもたちが青空のもとで元気に駆け回り、体力向上にもつながるグラウンドの芝生化を、経費を大きく抑えた独自のポット苗方式により、保育所1所・幼稚園1園・小学校3校で実施する。
5. 「(仮称) 箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設【予算額 64 千円】
 - 子どもの活字離れを防ぎ、読書意欲を高めるため、子どもたち自身が選んだ本や主人公を表彰する「(仮称) 箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設し、箕面から全国に発信する催しへと展開する。

III 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

1. 山なみ景観保全策の強化【予算額 1,985 千円】
 - 箕面のシンボルである山なみ景観を守るため、東西7キロメートルにわたる山すそ部を新たに「山すそ景観保全地区」に指定し、更なる山なみ景観の保全策を進める。
2. 「まちなかのみどり」を支援する制度と、その財源となる基金を創設【予算額 797,957 千円】
 - 住宅地のシンボルツリーや生け垣緑化など、市民が身近な緑を守り、育て、活かすための「まちなかのみどり支援制度」を創設する。
 - 「まちなかのみどり支援制度」の財源とするため、昨年度の施政方針で示した「(仮称) みどりファンド」を具現化する「みどり支援基金」(約7.9億円)を創設する。
3. 遊休農地の解消を図る「農空間保全事業」の創設【予算額 1,500 千円】
 - 遊休農地解消に実績をあげている「営農指導チーム (農業委員会)」、就農意欲のある市民と農業者をつなぐ「農業サポーター制度」に加え、農業基盤 (農道等) の整備に補助する「農空間保全事業」を創設し、遊休農地の解消を促進する。
4. 全市域を対象とした「まちの美化」の推進【予算額 616 千円】
 - 箕面のまちを美しく維持するため、罰則規定も含んだ「箕面市まちの美化を推進する条例」を制定し、全市域において空き缶のポイ捨て、犬のふんの放置等を禁止する。
5. 箕面駅前、桜井駅前、北部地域の活性化促進【予算額 301,260 千円】
 - 多くの観光客が訪れる玄関口「箕面駅前～箕面大瀧へ続く滝道」の再整備に着手する。また、滝道における川床 (かわゆか) の社会実験を行う。
 - 桜井スーパーマーケット旧館部分を用地買収し、駅前広場的な送迎や駐車スペースとして整備する。また、次のステップとなる桜井駅周辺の本格的な再生に向けた検討に着手する。
 - 旧止々呂美小中学校跡地に「(仮称) 止々呂美ふるさと自然館」を新設し、朝市など地元農業者の活発な動きと連動して、豊かな自然を活かすアウトドア・レジャーなど集客力のある地域振興策を展開する。
6. 北大阪急行線延伸構想の推進【予算額 106,117 千円】
 - 大阪府や鉄道事業者とのトップクラスによる会議を設置し、事業実現に向けた合意形成を加速させる。また、国土交通省鉄道局へ職員を派遣する。
 - 早期着工に向けた準備として、昨年度の当初予算で14年ぶりに基金積立を再開した「交通施設整備基金」に、新年度は倍額の1億円を積み立てる。
7. 秋に市内バス路線網を再編【予算額 54,890 千円】
 - 秋から市内バス路線網を再編し、3カ年の実証運行を経て、便利で持続可能なバス路線網を再構築する。
8. 箕面の「魅力」の営業活動を加速【予算額 3,010 千円】
 - 箕面の特長でもある「観光の魅力」と「住宅都市としての魅力」を民間企業とのタイアップにより市内外に広くPRし、箕面のブランド力をさらにアップさせる。

◆市政運営を着実に実行するために

市役所改革・行政改革の断行

- 民間企業との人事交流、国や大阪府への派遣により、職員のスキルを高めるとともに、人的ネットワークを広げる。
- 業務の内容やプロセスを洗い直し、「標準化」や「外部化」などを行う「業務の再構築」を進め、経費の圧縮と市民サービスの向上を図る。
- 池田市、豊能町、能勢町との2市2町間で合意した行政事務の広域連携について、2011年度中の本格実施に向けて、来年1月から一部試行を開始する。

4. 重点施策における主要事業

I 安心・支え合い最優先

市民の安全・安心の確保と、地域での支え合いを醸成していく取り組みを進める。

※（新規）とは、新たに予算措置した事業であることを示す。

1. 市立病院における医療の充実と赤字の圧縮

- 【事業名】 高額医療機器整備事業
【予算額】 391,908 千円
【目 的】 患者の体の痛みや負担の少ない治療を推進するための内視鏡検査装置や鏡視下（内視鏡）手術装置等、医療機器の整備を図る。
【内 容】 ☐内視鏡検査・手術装置の購入
☐マルチスライスCT装置の購入
☐血管造影X線診断装置の購入

なお、昨年6月から地方公営企業法を完全に適用した体制をフルに活用することにより、市立病院改革プランを着実に実行し、前年度比約1億2千万円の赤字を削減する予算とする。

会計名：箕面市病院事業会計（単位：千円）

病院事業収益 7,170,758 (7,009,199)

病院事業費用 7,948,898 (7,905,756)

収支差 △778,140 (△896,557) → 118,417千円の改善※

2. （仮称）箕面シニア大学の創設と（仮称）シニア・ナビの開設

- 【事業名】 （仮称）箕面シニア大学運営事業
【予算額】 2,389千円（新規）
【目 的】 自主的活動の中核と成り得るパワーや知識を持つ高齢者の、仲間づくりや地域活動へのデビューを支援する。
【内 容】 ☐地域のリーダーやボランティアを養成する2コースを開講し、地域で活躍する人材を育成
☐歴史や自然を学ぶ3コースを開講し、高齢者の生きがいづくりを支援
☐何か活動を始めてみようとする市民に対し、希望や興味に沿う市内の地域活動や団体等をワンストップで紹介・案内する窓口の開設

3. 昨年度に続く消防車両の大幅な更新

- 【事業名】 常備消防車両購入更新事業
非常備消防車両購入更新事業
【予算額】 ☐常 備 35,924 千円
☐非常備 70,858 千円
【目 的】 使用期限（NOx・PM法）に伴う計画的な更新整備を行い、消防力の充実強化を図る。
【内 容】 ☐常備車両（小型水槽付き消防ポンプ自動車）1台の更新
☐非常備車両（消防ポンプ自動車）4台の更新

II 子育てしやすさ日本一

子育てがしやすく、子どもたちが健やかにのびのびと育つ環境を整える。

※（新規）とは、新たに予算措置した事業であることを示す。

1. 急増する保育所待機児童への積極的対応

（１）第二総合運動場プール跡地での認可保育所新設

【事業名】 既成市街地保育所整備事業

【予算額】 156,686 千円（新規）

【目 的】 保育ニーズを満たすため、保育所の建設及び施設改修を行う。

【内 容】 ☐ 2011年4月に第二総合運動場50mプール跡地での開設に向け、
保育所を設置する社会福祉法人に補助
☐ 既存民間保育所（瀬川保育園）の施設改修に係る費用を補助

（２）箕面森町「認定こども園」の新設

【事業名】 箕面森町認定こども園（保育所）施設整備費補助事業

箕面森町認定こども園（幼稚園）施設整備費補助事業

【予算額】 ☐ 保育所 72,589 千円（新規）

☐ 幼稚園 117,150 千円（新規）

【目 的】 箕面森町の保育ニーズを満たすため、とどろみの森学園敷地内に保育所・幼稚園の一体型施設「認定こども園」を新設し、0歳から15歳までの一体的な保育・教育体制を整備する。

【内 容】 ☐ 2011年4月に開設に向け、認定こども園を設置する社会福祉法人
に対し整備費を補助

（３）公立幼稚園で簡易保育を実施

【事業名】 簡易保育施設施策充実事業

【予算額】 103,120 千円

【目 的】 待機児童の解消を図るため、乳幼児の保育の充実を図る。

【内 容】 ☐ 市立とよかわみなみ幼稚園において、民間主体に場所を提供し、3歳
児を対象とした簡易保育を実施
☐ 3歳未満児については、市内6カ所、市外1カ所の簡易保育所へ委託

2. 大阪府内全33市で初めて、幼・小・中の耐震化率100%を達成

(1) 幼・小・中学校の耐震化、トイレの美装化等の推進

- 【事業名】 耐震補強事業（小学校）
耐震補強事業（中学校）
施設大規模改修事業（幼稚園）
施設大規模改修事業（小学校）
施設大規模改修事業（中学校）
- 【予算額】 ☐耐震補強（小学校） 前年度からの繰越額 48,983 千円
☐耐震補強（中学校） 前年度からの繰越額 2,136 千円
☐施設大規模改修（幼稚園） 前年度からの繰越額 5,307 千円
☐施設大規模改修（小学校） 前年度からの繰越額 3,163,636 千円
☐施設大規模改修（中学校） 前年度からの繰越額 1,999,164 千円
- 【目 的】 子どもたちの安全・安心と教育環境の向上を目的に実施する。
- 【内 容】 ☐学校園施設の耐震化（幼稚園3園、小学校6校、中学校3校）
☐トイレの美装化（小学校11校、中学校6校）
☐太陽光発電設備の設置（小学校11校、中学校6校）

(2) 保育所の耐震化の推進

- 【事業名】 施設耐震補強事業（保育所）
- 【予算額】 8,425 千円（新規）
- 【目 的】 子どもたちや保護者の安全と安心を実現するため実施する。
- 【内 容】 ☐箕面保育所の耐震化工事及び萱野保育所の耐震診断調査

3. 2011年4月、彩都に小中一貫校を開校

- 【事業名】 彩都地区小中一貫校整備事業
彩都地区小中一貫校整備事業（継続費）
彩都地区小中一貫校開校準備事業
都市再生機構立替施行に係る償還事業（小学校）
都市再生機構立替施行に係る償還事業（中学校）
- 【予算額】 ☐小中一貫校整備 1,948,780 千円
☐小中一貫校整備(継続費) 7,659 千円
☐開校準備 1,561 千円（新規）
☐立替施行償還（小学校） 120,333 千円（新規）
☐立替施行償還（中学校） 19,171 千円（新規）
- 【目 的】 平成23年（2011年）4月に開校するため準備を進める。
- 【内 容】 ☐学校用地の取得
☐備品・教材等の購入

4. 校庭・園庭の芝生化のさらなる推進

- 【事業名】 保育所緑化推進事業
幼稚園緑化推進事業
学校緑化推進事業
- 【予算額】 ☐ 保育所 1,500 千円（新規）
☐ 幼稚園 1,642 千円
☐ 学校 3,664 千円
- 【目 的】 子どもの体力向上を目的に、経費を大きく抑えた独自のポット苗方式によりグラウンドの芝生化を図る。
- 【内 容】 ☐ 桜ヶ丘保育所の園庭芝生化
☐ ひがし幼稚園の園庭芝生化
☐ 小学校3校の校庭芝生化

5. 「(仮称) 箕面・世界子どもの本アカデミー賞」の創設

- 【事業名】 箕面・世界子どもの本アカデミー賞選定事業
- 【予算額】 64 千円（新規）
- 【目 的】 子どもの活字離れを防ぎ、読書意欲を高める。
- 【内 容】 ☐ 市内全校の子どもたちが本や主人公を選んで表彰する「(仮称) 箕面・世界子どもの本アカデミー賞」を創設
☐ 文部科学省や財団法人文字・活字文化推進機構などの協力を得て、全国的な催しへと発信

III 緑・住みやすさ最先端

豊かな緑を守り、便利で住みやすく、元気で活力ある箕面をめざして、まちづくりを進める。

※（新規）とは、新たに予算措置した事業であることを示す。

1. 山なみ景観保全策の強化

- 【事業名】 都市景観形成事業
【予算額】 1,985 千円
【目 的】 山なみ景観を守るため、東西7キロメートルにわたる山すそ部を新たに「山すそ景観保全地区」に指定し、さらなる山なみ景観の保全策を進める。
【内 容】 ☐山すそ景観保全地区を景観法に基づく景観計画に位置づける。
☐景観計画の変更と条例の改正による「基準や手続き等の追加」を周知啓発

2. まちなかのみどりの支援

（1）まちなかのみどりの支援

- 【事業名】 まちなかのみどり支援事業
【予算額】 5,659 千円（新規）
【目 的】 住宅地のシンボルツリーや生け垣緑化など、市民の方々が身近な緑を守り、育て、活かすための支援制度を創設し、みどり豊かな箕面のまちづくりを進める。
【内 容】 ☐市街地部の民有空間のみどりを守り育てる取り組みへの助成
（保護樹林・樹木管理助成、生け垣・花壇・壁面緑化設置助成、みどりの創出・活用を促進するモデル的な取り組みやみどりを介し市民がつながるソフト活動への支援等）

（2）みどり支援基金の創設

- 【事業名】 みどり支援基金積立事業
【予算額】 792,298 千円（新規）
【目 的】 まちなかのみどり支援制度をはじめとする、みどり政策を推進するため「みどり支援基金」を創設する。
【内 容】 ☐積立額 約7億9千万円
☐使途 「まちなかのみどり支援事業」（前項参照）に充当

3. 遊休農地の解消を図る「農空間保全事業」の創設

- 【事業名】 農空間保全事業
【予算額】 1,500 千円（新規）
【目 的】 遊休農地の解消策の一つとして、農業の基盤整備などへの補助を行う。
【内 容】 ☐整備内容：農道の整備・拡幅、水路改修等
☐事業費負担内訳：府 50%、箕面市 25%、地元 25%

4. 市域全域を対象とした「まちの美化」の推進

- 【事業名】 まちの美化推進事業
- 【予算額】 616 千円（新規）
- 【目 的】 「箕面市まちの美化を推進する条例」を制定し、市全域において空き缶のポイ捨て、犬のふんの放置、落書き行為等を禁止する。併せて、市民団体等が申請した地域を重点的に美化する地区（美化推進地区）に指定できる仕組みを構築し、「まちの美化」の推進を図る。
- 【内 容】 ☐ 条例制定に伴う「まちの美化」推進の啓発活動
☐ 美化推進地区の指定及び団体等による美化推進活動への支援

5. 箕面駅前、桜井駅前、北部地域の活性化促進

（１）箕面駅前周辺の活性化促進

- 【事業名】 箕面駅周辺活性化事業
- 【予算額】 46,330 千円
- 【目 的】 多くの観光客が訪れる玄関口「箕面駅前から箕面大滝へ続く滝道」の再整備に着手し、多くの人が周辺の商業施設や商店街を回遊する効果的な整備を行うとともに、滝道における川床の社会実験を行い、箕面駅周辺地域の活性化を図る。
- 【内 容】 ☐ 駅前広場等整備工事
☐ 川床の社会実験など箕面駅周辺の賑わいの創出

（２）北部地域の活性化促進

- 【事業名】 北部地域活性化事業
- 【予算額】 254,930 千円
- 【目 的】 地域活性化の拠点となる「（仮称）止々呂美ふるさと自然館」を旧止々呂美小中学校跡地に新設するとともに、地元ふれあい朝市や止々呂美産品の生産などと連動し、北部地域の豊かな自然を活かす地域振興策を進める。
- 【内 容】 ☐ 旧止々呂美小中学校解体工事及び「（仮称）止々呂美ふるさと自然館」新築工事

6. 北大阪急行線延伸構想の推進

（１）北大阪急行線延伸構想の推進

- 【事業名】 北大阪急行線延伸構想推進事業
- 【予算額】 6,076 千円
- 【目 的】 駅の開設によるバス路線網の充実、大阪都心部へのアクセス機能の強化、環境負荷の軽減などを図るとともに、市域全体の総合交通体系を確立し、利便性の確保や市域全体の活性化を図る。
- 【内 容】 ☐ 事業スキーム確立に向けた国との協議
☐ 整備主体検討に係る調査
☐ 北大阪急行線延伸推進会議の開催

(2) 北大阪急行線延伸に向けた積立

- 【事業名】 交通施設整備基金積立事業
【予算額】 100,041 千円
【目 的】 北大阪急行線延伸の事業実施時期における短期間の財政負担を平準化させる。
【内 容】 ☐基金への積立
☐企業等からの寄附の募集

7. 市内バス路線網再編の推進

- 【事業名】 市内公共交通整備事業
【予算額】 54,890 千円
【目 的】 秋から新たなバス交通の実証運行を開始し、採算性と利便性を検証し、バス路線網の再編を図る。
【内 容】 ☐新たなバス交通の実証運行
☐路線バス事業者に対するノンステップバス導入費の補助

8. 箕面の「良さ」を広くPRする活動の推進

- 【事業名】 セールスプロモーション事業
【予算額】 3,010 千円（新規）
【目 的】 新たに組織する実行委員会の活動等を通じ、住環境のすばらしさなど、箕面の「良さ」を市内外に広くPRすることにより、箕面の都市ブランドを向上させ、ひいては定住人口の増加を図る。
【内 容】 ☐仮称) 箕面セールスプロモーション実行委員会による、地域資源を活かした新たな特産品等の調査研究、商品開発、販売促進の実施
☐民間企業等とのタイアップによる、市の情報の発信